

【再評価対象の基準】  
 ア：事業費が予算化された時点から5年目においても未着工の事業  
 イ：事業費が予算化された時点から5年目において継続中の事業  
 ウ：5年目においても、準備・計画段階にある事業  
 エ：再評価実施後5年が経過した時点で継続中または未着工の事業  
 オ：社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

令和3年度 再評価対象事業一覧表

注)※印欄は、令和2年度末の数値。

番号	事業主体	補助・県単別	事業名 [事業場所]	事業の内容	B/C	事業化 年度	完了予 定年度	現時点 での全 体事業 費 (A) (億円)	投資済 額※ (B) (億円)	事業進 捗率※ (B/A) (%)	全体延 長or面 積 (C) (km)又は (ha)	供用済 延長or 面積※ (D) (km)又は (ha)	供用率 ※ (D/C) (%)	未取得 用地面 積 (ha)	未取得 用地面 積率 (%)	事業の進捗状況等	再 評 価 対 象 の 基 準	事業費の予算化時点 or 前回再評価時点から の変更内容と変更理由 【事業期間、事業費、その他特記事項】	対 応 方 針 (案)	対応方針(案)を判断した理由	一 括 ・ 重 点
道路分野																					
1	神奈川県	補助 県単	県道46号相模原茅ヶ崎 (上郷立体)道路改良事業 [海老名市上郷～河原口地 内]	道路改良 L=0.8km W=27.0m 4車線+両側歩道	1.3	H24	R13	74	10	13%	0.80	0	0	1.02	62%	平成26年度に用地取得を開始し、令和2年度末ま でに約38%(面積ベース)が完了している。 令和2年度末時点の事業進捗率は約13%(事業費 ベース)であり、今後用地取得を進め、令和13年度 の完成を目指す。	イ	-	継続	本事業は、道路ネットワーク(南北軸)の強化や立体 交差化による渋滞・踏切事故の解消など、事業の必 要性や重要性は依然として高いことから、事業を継続 する必要がある。	特別 重点
2	神奈川県	補助 県単	県道64号伊勢原津久井 (古在家バイパス) 道路改良事業 [清川村煤ヶ谷]	道路新設 L=0.84km (全長L=1.24kmの内、先行 整備するI期区間) W=9.75m 2車線+片側歩道	1.1	H17	R4	33	26	80%	0.84	0	0	0	0%	平成18年度に用地取得を開始し、令和2年度末ま でに完了している。 令和2年度末時点の事業進捗率は約80%(事業費 ベース)である。今年度はより土工や交差点改良工 などを進め、令和4年度の完成を目指す。	エ	【事業期間の変更】 事業期間：2年延伸(H32→R4完了) (理由)当初想定していなかった埋蔵文化財 調査の発掘調査が追加となり、工事が遅延し たため。 【事業費の変更】 事業費：8億円増(25億円→33億円) (理由)埋蔵文化財発掘調査が追加になったこ と、着工前の現地調査に基づき法枠工が拡大 したことなどで、事業費が増加したため。	継続	本事業は、災害対応力の強化、周辺住民の生活環 境の改善や歩行者等の交通安全の向上、観光地へ のアクセス強化を図るためのバイパス整備であり、令 和4年度の供用を目指している。事業の必要性に変 化はなく、重要性は依然として高いことから、事業を継続 する必要がある。	一般 重点
3	神奈川県	補助 県単	都市計画道路横浜藤沢線 (関谷工区)街路整備事業 [鎌倉市関谷～城廻]	道路新設 L=約0.6km w=32m 6車線	3.4	H21	R7	29	18	63%	0.60	0	0	0	0%	平成21年度に用地取得を開始し、令和2年度末ま でに完了している。 令和2年度末時点の事業進捗率は約62%(事業費 ベース)であり、今年度は道路改良工を進めている。 今後、汚染土処理・道路改良工・舗装などを進め、令 和7年度の完成を目指す。	オ	【事業期間の変更】 事業期間：4年間延伸(H33→R7完了) (理由)用地取得の難航、汚染土の対策検討 及び工事が遅延したため。 【事業費の変更】 事業費：9億円増額(20億円→29億円) (理由)汚染土処理、舗装構成の変更などで、 事業費が増加したため。	継続	本事業は、横浜市域と湘南地域を結ぶ広域的な幹 線道路ネットワークを形成するとともに、圏央道の (仮)栄IC・JCTへのアクセス強化が図られるなど、事 業の必要性に変化はなく重要性は依然として高いこ とから、事業を継続する必要がある。	一般 重点
4	神奈川県	補助 県単	都市計画道路城山多古線 他 街路整備事業 [小田原市久野～穴部]	道路新設 L=1.0km w=11.25～15.50m 2車線	1.7	H24	R7	51	31	61%	1.00	0	0	0.09	5%	平成24年度に用地取得を開始し、令和2年度末ま でに95%(面積ベース)が完了している。 令和2年度末時点の事業進捗率は約61%(事業費 ベース)である。令和2年度からは文化財発掘調査を 行っている。引き続き、未取得用地の早期取得を行 うとともに、トンネル工事及び道路改良工事を進め、 令和7年度の完成を目指す。	エ	【事業期間の変更】 事業期間：4年延伸(H33→R7完了) (理由)用地取得にあたり、一部で事業協 力を得るのに時間を要しているため。	継続	本事業は、県西地域におけるネットワークを強化す る主要な幹線道路の整備であり、小田原市中心部へ のアクセス機能の強化や歩行者等の安全確保、災害 対応力の強化など、事業の必要性に変化はな く重要性は依然として高いことから、事業を継続する 必要がある。	一般 重点
5	神奈川県	補助 県単	都市計画道路丸子中山茅ヶ 崎線 街路整備事業 [大和市上和田]	道路改良 L=1.0km W=27.0m 4車線	2.8	H14	R7	90	63	70%	1.00	0	0	0.40	22%	平成15年度に用地取得を開始し、令和2年度末ま でに78%(面積ベース)が完了している。 令和2年度末時点の事業進捗率は約64%(事業費 ベース)であり、引き続き用地取得を進めるとともに、 残る区間の交差点改良工事、横断歩道橋工事を進 め、令和7年度の完成を目指す。	エ	【事業期間の変更】 事業期間：5年延伸(H32→R7完了) (理由)用地取得にあたり、一部で事業協 力を得るのに時間を要しており、また、当初想定 していなかった埋蔵文化財の発掘調査が必要 となり、時間を要しているため。	継続	本事業は、横浜・川崎市域と湘南地域を結ぶ重要な 幹線道路であり、国道467号との交差点周辺の渋滞 緩和、歩行者等の安全確保、沿道環境の改善など、 事業の必要性に変化はなく、重要性は依然として高 いことから、事業を継続する必要がある。	一般 重点